



各位

鶴見サンマリン株式会社

### 5000KL 型 白・黒兼用タンカー鶴伸丸進水

11月29日、弊社は村上秀造船株式会社にて建造中であった白・黒兼用5000KLタンカー(第707番船)の進水式を執り行いました。

式典ではご来賓、商船学校の学生など総勢60名を超える関係者が見守る中、弊社代表取締役社長の宍倉俊人が、本船を「鶴伸丸」と命名し、無事進水いたしました。本船は、2025年3月中頃の竣工を目指し、引き続き艀装工事をを行い、引き渡し後は白・黒油兼用タンカーとして就航する予定です。



#### 本船の特徴

本船は、“今”必要な船舶を追求し「省エネ性・安全性・快適性の向上」をコンセプトに建造しています。

##### ◎省エネ性の向上(一例)

###### ・ゲートラダー

2枚の舵板をプロペラの左右両舷に配置することで、舵部分の抵抗を減らすとともに、舵板からも前進推力が発生する構造となっており、船舶の推進効率を向上させる最新鋭の省エネ舵として開発されました。本船は、内航タンカーでは世界初の搭載船となります。



【ゲートラダー】

##### ◎安全性の向上(一例)

###### ・全周囲展望ブリッジ&楕円形ファンネル

操船者の視認性を高めることを追求した形状のブリッジは全周に窓を配置しています。楕円形ファンネルを組み合わせることによって、後方視界を含めた全周囲の展望を可能にしており、視界確保による安全性を高めています。この全周囲展望ブリッジとエアロカットされた居住区前側面は、近未来的なデザインとなっています。



【楕円形ファンネル】

◎快適性の向上(一例)

・次世代居住区

各居室にはトイレ・シャワーを設置し、間接照明や設置家具などに清潔感と洗練された演出が採用されています。また、スターリンクや従来の通信環境を複合的に取り入れ、船員の海上生活を心理的にサポートするなど、随所に工夫を凝らしています。

**本船の概要**

全長	104m
型幅	16.00m
型深さ	8.30m
船級	日本海事協会
積載貨物	白油・黒油
総トン数	約 4,150G/T
載貨容積	約 5,600m <sup>3</sup>
造船所	村上秀造船株式会社

---

**【本件に関する問い合わせ先】**

鶴見サンマリン株式会社 総務・人事グループ (E-mail: soumu\_g@trsm.co.jp)